

## 第 103 期定時株主総会 Q&A サマリー

- ① Q：当社の配当性向の目安は 40%となっているが、業績の変動が激しい業界では配当の変動も大きくなる可能性がある。そのため、DOE (Dividend on Equity) 導入の検討をしないのか。

A：配当性向については、従来、30%を目安としていましたが、昨年の中期経営計画にて 40%へ引き上げました。当社の考え方としましては、営業利益や純利益に応じて配当を実施することを基本としておりますが、貴重なご意見として承りました。

- ② Q：薬品の自動包装システムの国内市場占有率について教えてほしい。

A：薬品包装機における当社の国内市場占有率は、現在のところ公式な数字は公表しておりませんが、国内ではトップシェアであると認識しております。

- ③ Q：海外のファンドが他の企業に対して、配当性向 100%を要求している。

CKD として、配当性向の考え方を教えてほしい。

A：当社としては、現在、成長投資が重要と考えております。その成長投資が今後更に会社の成長に寄与し、株主様への還元につながるかと考えております。

- ④ Q：海外の株主が増加していることについて、当社の考えを教えてほしい。

A：海外の株主様については、必要に応じて意見交換を行っており、今後も継続していきたいと考えております。

- ⑤ Q：株主優待の変更内容について教えてほしい。

A：株主優待は、現在クオカードをお渡ししており、次回からデジタルギフトへ変更をいたします。長期的に株主様に当社株式を保有していただくことを目的としており、デジタルギフトへ変更することで、コンビニエンスストアや飲食店等の利便性向上に寄与できると考えております。

- ⑥ Q：インドへの投資が今後当社に対してどのような影響を及ぼすのか。

A：1 万 5 千㎡の敷地に工場を建設し、2023 年度の稼働を予定しています。インドは、人口が世界 1 位となり、非常に魅力的な市場であり、今後自動車をはじめ色々な産業が成長すると期待しており、その需要を取り込んでいきたいと考えております。

- ⑦ Q：電動事業について、今後売上及び利益にどのように影響するのか。

A：新商品の売上等については、具体的な数字は申し上げられませんが、昨今の状況として、カーボンニュートラル等の影響を受け、空気圧機器から電動機器に需要が移行している面もあります。当社もその需要を取り込み、電動と空気圧のベストミックスでお客様へご提案してまいります。

⑧ Q：中期経営計画 2025 の進捗状況について教えてほしい。

A：2025 年度の売上高は 1,800 億円、営業利益は 250 億円、ROE は 10～13% を目標値として設定しております。配当性向は 40% とし、機動的な自社株買いを予定しております。なお、2022 年度は、過去最高の売上・利益を達成しましたが、2023 年度は、半導体のダウンサイクル及び自動化投資の調整局面のため、売上減少を予想しております。そうした中、計画的に投資を行い、成長に向けて基盤を強化し、次の成長に向け取り組んでまいります。

⑨ Q：SDGs に関して重点的に取り組んでいる内容について教えてほしい。

A：環境に配慮した商品開発を行うことで、社会に貢献しております。例えば、空気圧機器の HP シリーズは、耐久性が従来比 4～5 倍であり、お客様の生産性向上に寄与しております。また、薬品包装機においては、バイオマスフィルムの実用化に伴い、プラスチックの削減活動などを行っております。合わせて、女性の活躍推進等についても注力して活動しております。

⑩ Q：CO2 削減の目標について教えてほしい。

A：2030 年度に、売上原単位で 2013 年度比 50% 削減、総量で 2022 年度比 50% 削減、2050 年度に CO2 排出量実質ゼロを目標としております。具体的な取組みとしては、設備の生産性向上や太陽光発電設備の設置、グリーン電力の活用などにより、脱炭素社会実現に向け貢献していきたいと考えております。

⑪ Q：議長の座右の銘について教えてほしい。

A：「一所懸命」であり、結果のみに囚われず、今置かれた立場で最大限のことを行うことが、私の座右の銘です。